

家紋 丸ノ内ニツ雁金
丸ノ内左リ万字
藤原姓 高式百俵
大谷木 本氏毛呂

季昭

大織冠鎌足十六代大宰帥季仲嫡

より出

男毛呂豊後守季光五代土佐守

頭重男

長吉

毛呂太郎

北條氏政に仕へ没落の後

東照宮へ召出され武州新堀郷の内三百石

を賜ふ○高麗陣供奉大坂に至て

無剛氣為役氏膝に疵を蒙る依て

行歩かなはず知行指上武州松山に

引籠入道して宗印と称す

此家督当時毛呂十兵衛長富家

頭綱

毛呂越後守

北條家に仕へ武州大谷木に住す

頭純

大谷木三河

北條氏政に仕へ大谷木と称す○死す

大谷村自分屋敷の内へ葬る

季純

大谷木右馬之助

北條氏政に仕へ三十四歳にて死す

季昭

大谷木與兵衛

小六郎

父季純死後幼少に付後見として加治

民部与申者母義共養育大谷木へ引

籠る然るに氏政豆州薤山合戦の時

十五歳にて元服し初陣にて敵首二

を得氏政より感状を賜ふ○北條没

落之時結城中納言に仕へ中納言死

去の後

東照宮へ召出され松平石見守組与力を命

せられ采地二百石を賜ふ○老免致

仕大谷木へ引籠○寛永十六巳年

十一月二日死す武州入間郡毛呂郷小

田谷村長栄寺に葬る

季継

大谷木与九郎

結城中納言に仕後家絶

季秀

大谷木与兵衛

三六郎

台徳院殿御代大御番加々爪甲斐守組与力

○致仕大谷木へ籠居○寛文二寅年

九月十六日死す四ツ谷理正寺に葬る

子孫大御番与力被成

季長

次男

大谷木又兵衛

寛永十三子年家督大御番青山

丹後守組与力○寛文元丑年致仕○

同二寅年十一月廿日死す五十九歳武

州入間郡廣濟寺に葬る

季政

大谷木安左衛門

寛文元丑年家督大御番与力○元禄

九戌年与力御免御直参仰付られ無

役にて松平美濃守支配となり川越

城下に差置られ美濃守亭へ御成

の時川越より招呼れ拜謁御講訳

拜聴御能拜見○元禄十四巳年三

月七日死す六十一歳同寺に葬る

季春 大谷木彦八郎

御徒被 召出

季茂 同 小左衛門

初吉右衛門

榎田御殿正被 召出○

西丸火之番○正徳三年

六月十二日死す孫大御番

与力

季貞

大谷木安左衛門

甚十郎 十左衛門

元禄十四巳年家督松平美濃守支

配にて川越城下に住居○宝永二

酉年正月廿七日二丸火之番○同五子年

五月四日表御右筆○享保十一年十一

月六日病免○元文二巳年五月廿三日

死す六十三歳下谷龍谷寺に葬る

以下略